

お知らせ

記者発表資料

令和3年8月4日

■同時発表先：合同庁舎記者クラブ、島根県政記者会、中国地方建設記者クラブ

道路に関する新たな取り組みの現地実証実験（社会実験） の実施について

- 国土交通省道路局では、社会的に影響を与える可能性のある道路施策の導入に先立って、地域住民等の参加のもと、場所や期間を限定して当該施策を試行・評価し、もって新たな施策の展開と円滑に事業を執行することを目的とする現地実証実験（社会実験）を、公募により平成11年度から実施しています。
- 令和3年度においても実験を実施する地域を公募し、中国地方整備局管内では、以下の実験が採択されましたので、お知らせします。

申請団体	実験の名称	実験の概要	タイプ
島根県 出雲市	出雲大社周辺道路（シェアドスペース等）における低速モビリティ導入による道路空間の魅力向上及び安全性検証の社会実験	歩車共存道路（シェアドスペース）として整備されている出雲大社参詣道神門通り等において、移動環境の向上、交通事故ゼロ及び魅力的な空間形成を目的に、低速モビリティを導入する社会実験を行い、道路空間の安全性及び必要となる交通ルール等を検証する。	現地実証実験 タイプ（単年度）

- 社会実験については、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.mlit.go.jp/road/demopro/index.html>

<問い合わせ先>

国土交通省 中国地方整備局 道路部 地域道路課

082-221-9231（代表）

【担当】

地域道路課

課長

やまもと たかゆき
山本 孝行

（内線 4611）

◎ 課長補佐

かわはら しんいち
河原 慎一

（内線 4613）